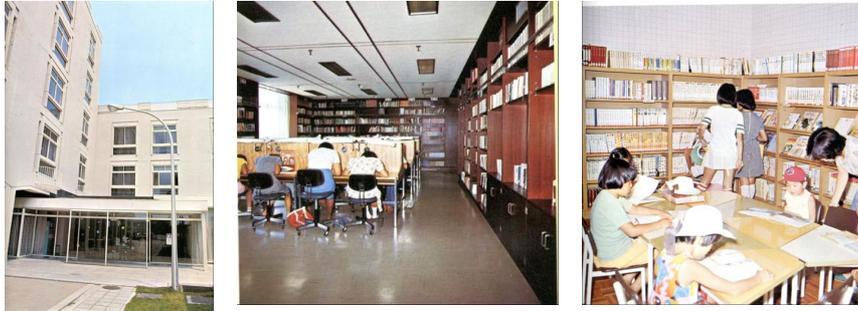


各区図書館のあゆみ [7] 美原区

美原図書館

美原町の図書館の歴史は昭和28(1953)年に大阪府立図書館の自動車文庫が黒山村に巡回を始めたことにさかのぼります。その後次々に自動車文庫駐車場を設置しました。そして昭和50(1975)年に中央公民館図書室、翌年に児童文化センター図書室が開室しました。



昭和52(1977)年には「くすのき号Ⅰ」が巡回を開始しました。中央公民館図書室を拠点に発足した「美原町読書友の会」は、図書室での貸出協力や移動図書館の巡回協力をを行うなど、読書に関わる様々な活動に取り組まれました。



「美原町読書友の会」は各地の図書館の見学会や、図書館をテーマにした講座を重ねていきました。そして、住民のみなさんの熱い思いが実を結び、平成12(2000)年に美原町立図書館はオープンしました。



平成13(2001)年、小牟田啓氏作曲の「サバンナgiraffe(ジラフ)」を図書館のテーマソングに決定し、現在も閉館時に館内に流しています。また、美原町在住の絵本作家、野村なおこ氏デザインの図書館シンボルキャラクター「ブックリン」の愛称が決定しました。



平成14(2002)年に「美原音訳グループひばり」による音訳サービスを開始。
平成15(2003)年4月からはブックスタートを開始。
4か月健診時に絵本などが入ったスタートバックをプレゼントしています。

平成17(2005)年2月の堺市との合併により、堺市立美原図書館に名称を変更。同年10月以後「くすのき号Ⅲ」が堺市全域を巡回しています。その後も現在に至るまで地域の皆様と連携を図りながら、親しみやすい図書館をめざして様々なサービスを行っています。

伊東静雄詩碑



平成25(2013)年3月に「美原読書友の会」が中心となり、伊東静雄の詩碑を美原図書館正面に建立しました。



平成27(2015)年で第15回を迎えた美原図書館まつりは、ボランティアの各グループの代表により結成された「ネットワーク・ま・と(としょかんは まちの ともだち)」と協力して開催しています。毎年、多くの子どもたちでにぎわっています。